



注意 ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

■安全にご使用頂くために

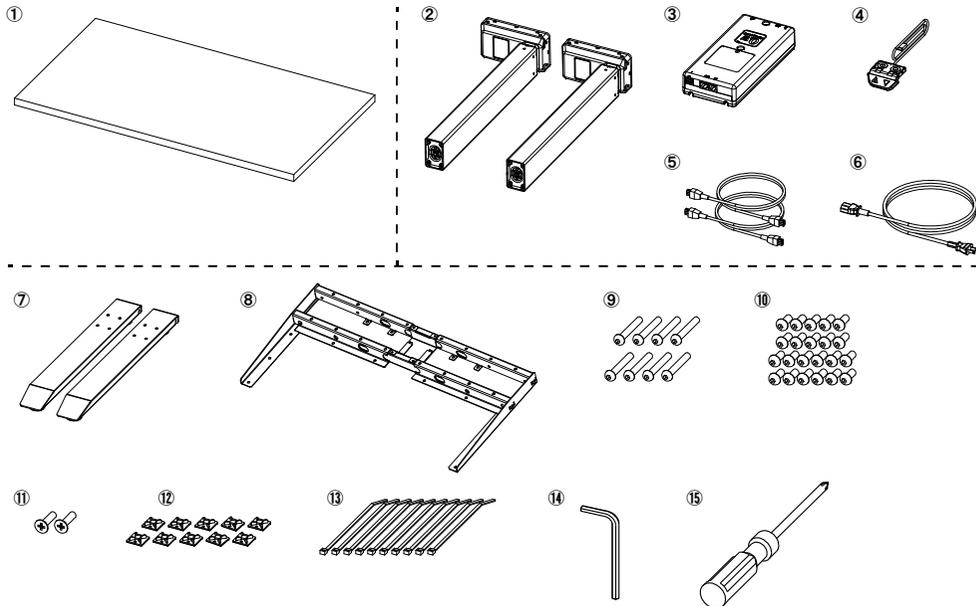
本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

1. セット内容

番号	部品名	梱包	数量	番号	部品名	梱包	数量
①	天板	1/3	1ヶ	⑨	六角穴付ボルトM6×40	3/3	8ヶ
②	デスクリフト	2/3	2ヶ	⑩	六角穴付ボルトM6×12	3/3	22ヶ
③	コントロールボックス	2/3	1ヶ	⑪	十字穴付皿ネジM4×15	3/3	2ヶ
④	デスクパネル	2/3	1ヶ	⑫	マウントベース	3/3	10ヶ
⑤	モーターケーブル 1.0m	2/3	2ヶ	⑬	結束バンド	3/3	10ヶ
⑥	電源ケーブル 3.2m	2/3	1ヶ	⑭	六角レンチ	3/3	1ヶ
⑦	アジャスターベース	3/3	2ヶ	⑮	プラスドライバー	3/3	1ヶ
⑧	天板フレーム	3/3	1ヶ				



●組立を行う前に

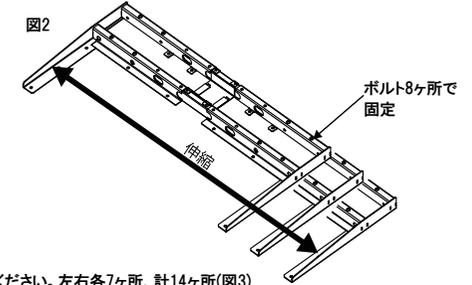
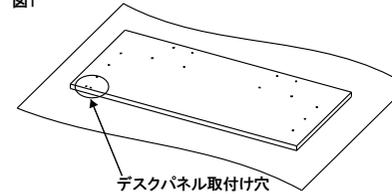
- 組立てる前に必ず内容物を確認してください。
- 組立てる際は広い場所で作業し、毛布などで床面にキズがつかない様行ってください。
- 組立作業はなるべく複数の作業者で行ってください。転倒し怪我をする恐れがあります。

2. 組立手順

1 天板フレーム

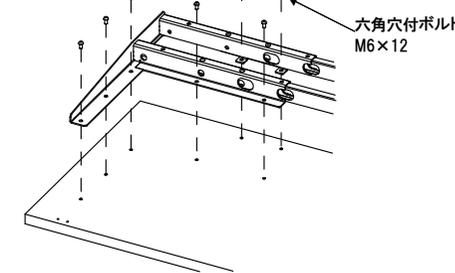
- キズがつかない様、毛布などの上に天板を裏返して置いてください。(図1)
- ※前側にデスクパネル取付け穴があります。
- 天板のサイズがW1000mm以外の場合は付属の六角レンチで天板フレームのボルトを外し、天板フレームを伸ばしてから外したボルトで固定してください。(図2)
- ※W=1000、1200、1400の3段階あります。

図1



- 付属の六角穴付ボルトM6×12にて天板と天板フレームをしっかりと固定してください。左右各7ヶ所、計14ヶ所(図3)

図3



2 デスクリフト **注意**

- **注意** デスクリフトは重いため二人以上で行いデスクリフトが転倒しないよう保持して組立ててください。天板フレームに固定する際は六角穴付ボルトM6×12を使用してください。M6×40を使用すると中の機器を押し破損の原因となります。

- 固定した天板フレームに少し隙間をあけてデスクリフトを差し込んでください。(図4)
- 天板フレームの前後から付属の六角穴付ボルトM6×12を前後4箇所、左右2箇所、計8ヶ所六角レンチにてしっかりと固定してください。(図5)
- ※六角穴付ボルトが、フレームの中に入ると取り難いため、ゆっくり差し入れてください。

図4

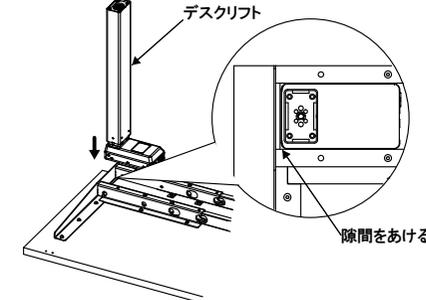
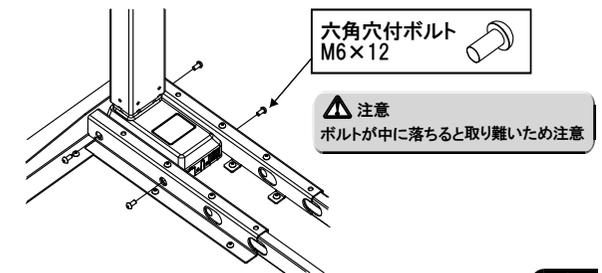


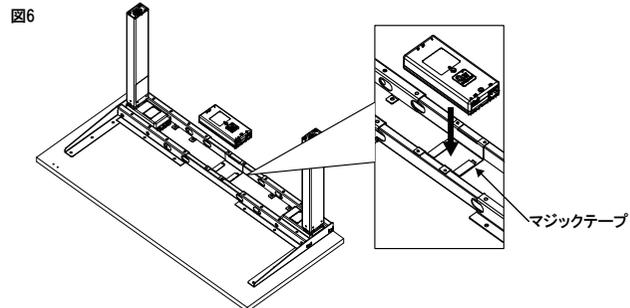
図5



2. 組立手順

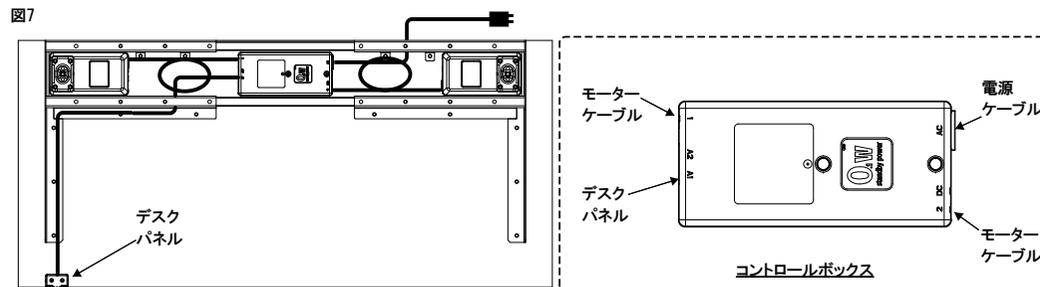
3 コントロールボックス

- 天板フレームとコントロールボックスにマジックテープが貼ってありますので位置を合わせてコントロールボックスを天板フレームの間に貼り付けてください。(図6)
- ※テープがパチッと鳴るまでしっかりと押し込んでください。



4 ケーブル接続・デスクパネル

- デスクリフト、コントロールボックスに付属のモーターケーブルをコネクタへ接続してください。(図7)
- デスクパネルを付属の十字穴皿ネジM4×15にて固定しケーブルをA1のコネクタに接続してください。(図7)
- コントロールボックスのACコネクタに電源ケーブルを接続してください。
- ※結束バンド、マウントベースを付属しておりますのでケーブルをまとめて、たるみがないように固定してください。



5 アジャスターベース 注意

- ▲注意
アジャスターベースを取り付ける際は二人以上で行いアジャスターベースが落下しないよう保持して組立ててください。
デスクを起す際は背面側を基点とし、二人以上の作業で起こしてください。

- アジャスターベースを付属の六角穴付ボルトM6×40にて各4ヶ所、計8ヶ所デスクリフトにしっかりと固定してください。(図8)

